

☆☆ 新型コロナウイルス感染症ニュース 第 43 号 2020.11.24 ☆☆

天候に恵まれた 3 連休もコロナ第三波の心配と重なって、今一つすっきりしない日々をお過ごしのことと存じます。先週は、特に仙台市では新型コロナ対策の大きな動きはありませんでした。特に**医療機関での発熱等の患者さん診療・対応の体制にも変更はありません**。全国、宮城県の対策など様々な報道がなされる中、再度仙台市での現状を整理してみたいと思います。

全医療機関の皆様へ

発熱等の患者さんの診察に際しましては、**感染対策の徹底**をお願いいたします。インフルエンザについては**医師が総合的に判断した上で抗インフルエンザウイルス薬による治療の開始が必要と認める場合には、簡易迅速検査や PCR 検査の実施は必須ではない**ことが日本医師会から通知されております。

現在仙台市ではこれまでの体制に変更はなく、自院で**対応が困難な場合は受診・相談センター**（従来のコールセンター）への相談が**24 時間対応**で可能です。また現時点で、発熱等対応できる医療機関も**公開の予定はありません**。

診察後に、新型コロナウイルスの**PCR 検査が必要と判断**したものの自院で検体採取ができない場合は、保健所健康安全課内の**受診調整班**へご依頼ください。さらなる**治療が必要と判断された場合は 2 次医療機関へ紹介等の手配**、特に自院**PCR 検査陽性例**や新型コロナウイルス**感染が強く疑われる場合**、その他の相談は、**帰国者接触者相談センター**（各区保健福祉センター管理課）へご連絡ください。

仙台市の発熱等の診療協力について

10 月 23 日に仙台市によって標記内容のアンケート調査が行われました。変更なしの場合は回答不要として、11 月 12 日時点、送付数 775 件に対して回答数（変更数）は 197 件でした。その結果、コールセンター・保健所での情報提供可能診療所等は以前より 17 ヲ所増えて **169 ヲ所**となりました。具体的な診療所の**リストは仙台市（保健所）で管理**されておりますが、仙台市医師会では把握しておりません。今のところ**公開される予定もありません**。制度の辞退、追加申請は適宜可能です。診療協力に対する仙台市からの支援金は下記 PCR 検査を行った件数によって計算されます。

PCR 等の行政検査について

上記、発熱患者さんの紹介協力とは別の申請で、多くの医療機関が医師会の集合契約、個別契約で**行政検査に参加**していただいております。今後も**追加の契約は随時可能**です。これまで PCR 検査の実施件数は FAX、メールでご報告いただいておりますが、今後は対応可能な医療機関では **G-MIS** による報告が求められます。各医療機関宛に ID, PW の交付が開始されております。

PCR 等検査で陽性となった患者さん等の届け出について

検査の結果、**陽性**の患者さん、**入院が必要な重症の感染疑い**患者さんは**速やかに保健所への届け出**が必要です。今後 **HER-SYS** による報告が求められるようになる予定で、G-MIS 同様体制が整い次第 ID, PW と、入力方法等の通知、入力困難な場合の対処について対象医療機関へ送付される予定です。

インフルエンザ流行期に備えた発熱患者の診療・検査体制確保事業について

診療・検査医療機関は発熱患者等専用の診察室を設けた上で発熱患者等の診療を行うものであり、11 月 3 日現在、418 医療機関が宮城県より指定されております。このうち仙台市内が 247 医療機関です。補助については県の指定を受けた後に見込み額を請求し、**実績については後日報告が求められる**予定です。

（文責：福壽岳雄）

仙台市医師会へのご意見・ご質問等は FAX、メールでお願いいたします。

FAX:022-267-5193

メール：sen-ishi@sendai.miyagi.med.or.jp